国立大学法人東京医科歯科大学慶弔取扱基準

平成20年 7月 1日
制 定

1 本学では、慶弔に関して、次の基準により取り扱うものとする。

区分	対 象	発信者・供花者
祝電	1. 慶事に関する案内のあったもののうち、学長又は役員が出席できない場合	学長、理事、監事
	2. その他特に必要と認める場合	学長、理事、監事
弔辞	次の者が逝去した場合	
	1. 役員（経験者を含む。）	学長
	2. 名誉教授（部局長経験者）	学長
	3. その他特に必要と認める場合	学長
弔電	次の者が逝去した場合	
	1. 職員	学長、理事、監事
	2. 役員又は職員の配偶者、父母（養子縁組者については養父母）、子	学長、理事、監事
	3. 名誉教授	学長、理事、監事
	4. 経営協議会構成員（経験者を含む。）	学長、理事、監事
	5. 学生	学長、理事、監事
	6. その他特に必要と認める場合	学長、部局長等

供 花	次の者が逝去した場合（原則として生花） 1. 役員（経験者を含む。） 2. 職員 3. 名誉教授 4. 経営協議会構成員（経験者を含む。） 5. 学生 6. その他特に必要と認める場合	学長、理事、監事 学長、理事、監事 学長、理事、監事 学長、理事、監事 学長、理事、監事 学長、理事、監事
大 学 葬	1. 現職の学長が逝去した場合	/
お 別 れ の 会	1. 学術研究に特に顕著な功績（ノーベル賞、文化勲章、文化功労者等）のあった元又は前学長が逝去した場合 2. 元又は前学長の逝去に伴い、他機関からお別れの会の申出があった場合	/

2 「職員」とは、常勤職員及び常勤職員に準ずる勤務態様の非常勤職員をいう。

3 「部局長」とは、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成16年規程第1号。以下「規程」という。）第26条別表に定める部局の長である。

4 弔辞は、弔電をもってこれに代えることができるものとする。

5 弔事における学内への通知は、次の各号に掲げる課等が、速やかに別紙様式により行う。

(1) 役員に関する場合

総務部総務秘書課

(2) 職員に関する場合

所属部局の庶務担当課又は事務部

(3) 名誉教授に関する場合 退職時の所属部局の庶務担当課又は事務部

- 6 理事及び監事からの発信・供花は、「理事・監事一同」の名義で行う。
- 7 大学葬又はお別れの会について、遺族の同意が得られないときその他の事情がある場合は実施しない。
- 8 大学葬又はお別れの会の形式は合同葬を含む。
- 9 部局長等（規程第26条別表に定める部局及びセンターの長をいう。）から発信・供花する場合には、各部局等で別に定めるものとする。

附 則

（施行期日）

- 1 この基準は、平成20年7月1日から実施する。

（国立大学法人弔事取扱基準の廃止）

- 2 国立大学法人弔事取扱基準（平成16年4月制定）は、廃止する。

附 則（平成22年12月1日制定）

この基準は、平成22年12月1日から実施する。

附 則（平成23年9月30日制定）

この基準は、平成23年9月30日から施行し、平成23年8月1日から適用する。

附 則（平成26年6月17日制定）

この基準は、平成26年6月17日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則（平成26年6月19日制定）

この基準は、平成26年6月19日から施行し、平成26年5月1日から適用する。

附 則（平成29年4月18日制定）

この基準は、平成29年4月18日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

別紙様式

お知らせ

勤務 殿の

(ふりがな)

殿(享年)には、 月 日逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

なお、通夜並びに告別式は左記のとおり執り行われます。

記

通夜 日 時 月 日 () 時 () 時

場 所

(ふりがな)

電話 ()

告別式 日 時 月 日 () 時 () 時

場 所

(ふりがな)

電話 ()

(ふりがな)
喪主 () 殿

平成 年 月 日

各位

庶務担当課・事務部